

令和 7 年度

第 29 回宮城県障害者技能競技大会

(アビリンピックみやぎ 2025)

パーソナルコンピュータ

ホームページ部門

公開課題

宮城県

I 競技の概要

1 競技種目

競技種目は、次の2つからなる。

- ① 公開課題（この文書の課題）
- ② 競技課題（競技当日に公開される）

公開課題で制作したホームページを元にして、競技課題に取り組む。また、競技課題においては、公開課題の制作時に準備しておいた素材を使用する。

II 公開課題

1 課題の概要

宮城県内の史跡・遺跡・博物館などの情報提供をするホームページの作成を依頼されたとする。公開課題として、競技者は要件に従って以下2種類のホームページを作成する。

- ① 要件を元に作成したサンプルとなるホームページ。（サンプルサイト）
- ② ①で作成した提案事項を整理した説明用ページ。（プレゼンページ）

※公開課題の作品は競技当日にも使用する。

※公開課題は、ローカル環境（インターネットに接続されない）で閲覧可能な、静的なコンテンツとしてHTMLファイルを用意すること。

※制作・閲覧に必要な外部ファイルなどは、各自でダウンロードを行いローカル環境でも利用できるようにすること。

2 要件

今回のホームページ作成について、次の要望が示されているものとする。

[概要]

- まずは、宮城の史跡や遺跡・博物館への興味が沸き立つようなホームページが欲しい。
- 近年、県内では観光客が増加している。それぞれの史跡や遺跡・博物館の魅力を紹介し、県内のより様々な場所へ観光客が訪れるようにしたい。
- 県外からの観光客だけでなく、地元県内の人にとっても、地元再発見のきっかけになるようにしたい。
- 最近では、高齢の方や障害のある方から、史跡や遺跡・博物館施設の利用しやすさについて確認するための問い合わせが増えてきている。
- PC以外にもタブレット、スマートフォンでも閲覧できるホームページにして欲しい。
- 写真などを多用して、史跡や遺跡・博物館の魅力を紹介したい。
- シンプルなデザインを希望。

[想定する閲覧者について]

- 宮城県内の観光を検討する旅行者
- 県内のお出かけ情報を探している県民
- 宮城県に少しでも興味を持った全ての人
- 多くの人に利用して欲しいので、高齢の方や障害のある方をも意識して欲しい。

[最低限必要な要件について]

- まずは、サンプルとして以下構成のページを作成してほしい。(計3ページ)
 - トップページ
 - 宮城の歴史の概要ページ
 - 宮城県北地域の史跡や遺跡・博物館の紹介ページ(3か所以上)
- 県北が具体的にどの地域を指すのかは、大体で判断してよい。
- 写真やイラストなども、自由に用意してよい。
- 複数の製作者へ提案を依頼しているため、提案ポイントをわかりやすく紹介して欲しい。

以上

3 公開課題に関する仕様

- ソースコードも評価の対象とする。見やすく分かりやすいソースコードになるように配慮すること。
- 作品は、他人の力を借りず、競技者自身が今回の競技のために新たに制作すること。
- 画像、音楽、文章等はオリジナルのものを用意してもかまわない。
- 画像、音楽、文章等は、他者の知的財産権を侵害しないこと。
- 素材提供者には、競技中の使用、展示エリアでの使用、大会後の作品紹介などの機会において使用される可能性のあることを説明し、その上で使用の許諾をもらうこと。
- 障害のある方の利用に配慮したホームページにすること。
- 公開課題の作品で使用していないソースコードや素材であっても、CD にそれらを含めておき、競技中に参照しても良い。(事前に提出するCDの中身を、当日、大会運営側が備え付けUSBメモリーに移し替えておくので、それを参照すること。)

(1) サンプルサイト

- 掲載する史跡や遺跡・博物館は自由に選択して良いが、実在するものにする。
- ファイル名は次の通りとして作成すること。
 - トップページ : index.html
 - 宮城の歴史の概要ページ : history.html
 - 宮城県北地域の史跡や遺跡・博物館の紹介ページ : kenpoku.html

(2) プレゼンページ

- ホームページ作成の依頼者に提案ポイントを説明するページを作成すること。
- 説明の仕方に形式はない。
- ファイル名は次の通りとして作成すること。
sample.html (複数ページ作成する場合には、sample2.html, sample3.html のようにする)
- 競技者の名前をフッターに記述すること。

[使用して良い技術]

- HTML, CSS, JavaScript, jQuery, CSS フレームワーク (Bootstrap, Foundation など)

[使用してはいけない技術]

- CMS など上記で指定された以外の技術

(3) 競技における稼働環境

ハードウェア

ノート型パソコン

ソフトウェア

OS : Microsoft Windows10

ブラウザソフト : Google Chrome

テキストエディタ : TeraPad (フリーソフト)

4 提出方法

- 同封の CD 1 枚に保存し競技者の氏名を記入のうえ、**7月2日(水)**までに、同封のレターパックで(独)高齡・障害・求職者雇用支援機構宮城支部 高齡・障害者業務課(〒985-8550 宮城県多賀城市明月 2-2-1)へ提出すること。なお、提出された CD は返却しないので、事前にデータをコピーする等の対応を行うこと。
- CD には、公開課題で使用していてもサンプルの HTML / CSS ファイル、スクリプト、利用方法のメモ、その他素材を含めておいても良い。競技当日も参照可能である。

※ただし、市販品の素材は認めない。あるいは、市販の HTML / CSS / JS 等のサンプル集を含めておくこともできない。なお、CD の内容は競技の前後で競技委員が確認する。よって、圧縮や暗号化してはいけない。

5 公開課題の採点における位置づけ

公開課題そのものは採点の対象にはならない。採点は、当日課題により新規制作あるいは更新された部分に対して行われる。ただし、同点の場合には公開課題を判断材料とすることもある。

III 競技課題（参考）

※以下は、第29回宮城県障害者技能競技大会における競技課題をイメージするために参考として公表する。

1 課題の概要

公開課題の作品に含まれる素材を活用し、競技時間内に新たな要件に従いウェブページを制作する。

2 競技時間

競技時間は100分とする。（1時間40分）

3 作品提出方法

備え付けのUSBメモリーに保存する。

故障等のリスクを回避するために、USBメモリーに適宜保存することを怠らない。

4 使用機器

ハードウェア及びソフトウェアは事前に告知したとおりである。

異なる場合は、競技開始前までに報告する。

5 注意事項

- 与えられたPCにインストールされているソフトウェアは、自由に使用して良い。
- 市販の参考図書は原則として1冊までの持ち込みを認める。全部または一部を点訳したもので構わない。
- ノートやメモ紙の持ち込みは認めない。（当日の注意事項のメモを除く）
- 公開課題作品と素材等の入ったCDは競技中に参照できる。（当日の備え付けUSBメモリー内にCDの中身を保存した状態で提供）
- 備え付けUSBメモリーのデータを競技用PCにコピーしても構わない。
- 個人所有のUSBメモリー等記憶媒体の持ち込みは認めない。
- 何らかの違反行為が認められた場合は、競技への参加を辞退してもらう場合がある。
- 競技中に万一機器が故障した場合は、競技委員の指示に従う。

6 新たな要件（競技当日は1～2つ程度を予定）

以下要件例に対応する。

■追加ページ制作

県南地域、仙台/松島地域、または三陸地域の、史跡や遺跡・博物館を紹介するページを追加することを競技課題とする予定であるため、事前の情報収集、素材準備などを推奨する。

それぞれの地域が具体的にどの範囲なのかは、大体で判断してよい。

※いずれの場合も、公開課題で制作したページからリンクさせる

7 全体的な要件

- 課題の最低限の仕様を満たし、HTML ソースは他人に見られることを前提にしている。（基礎力）
- 課題の仕様を満たす上で、適切な技術を用い活用している。（技術力）
- 要件を適切に理解した上で競技課題を制作している。（提案力）
- 障害の有無に関係なく誰でも利用できるように配慮されている。（アクセシビリティ）
- 競技者独自のユニークさがある。（独創性）
- 人を惹きつけるデザインになっている。（芸術性）

以上